

Yusuhara a Home from Home (第 22 部)

これまでと、これから (Looking Back and Forward)

梶原学園 ALT : スティーヴン・ウダード

四旬節 (訳注 : 4月初旬に祝われるイースター (復活祭) 前の 40 日間) が近づいてきました。イースターが象徴するものは再生ですが、たくさんの人々が、この時期に過去を振り返り、いったいどんなことがこれから待っているだろうかと、思いをめぐらすものです。そういうわけで、僕もここで少し、去年のことと、これからについて考えてみたいと思います。

移動規制が緩和されたおかげで、僕はこの冬、実に 3 年ぶりにイギリスに帰省することができました。クリスマスと新年を、家族や友人たちと一緒に過ごせました……本当に待ち望んでいた時間でした。また、日本でも、開催にはいろいろな制限がかかっていたものの、参加したいと思っていたいくつかのイベントに、去年はようやく参加することができました。

今の時期に、過去を振り返っているのは僕だけではありません。7 年生は、これまで自分たちを育ててくれた、いろいろなことに思いを馳せながら、立志式に向けて一生けんめい練習を重ねていました。本番がとても楽しみです。もちろん、すごく緊張していることでしょう。でも、きっとしっかりやってくれるとも信じています!

最後に、ちょっとだけ先の話。卒業式がどんどん近づいてきています。あと数週間で、僕たちは 9 年生にお別れを言わなければなりません。実のところ、梶原で過ごす時間が長くなればなるほど、卒業生たちに別れを告げるのが辛くなっています。今の 9 年生は、彼らが小学生だった頃から一緒に英語を学んできただけに、特にそう感じます。高校に進学してからも、そしてその先も……元気に人生を歩んでほしいなあ、と思います。



イースター・バニー (復活祭のウサギ) は再生の象徴、タマゴとともに。

(日本語訳 : 町 ALT 森竹弘喜)